

# 22kV配電塔遠隔監視制御装置

当社では、このたび中部電力(株)茅野営業所へ22kV配電塔遠隔監視制御装置を納入した。

本装置は、通常の1:N方式遠隔監視制御装置の機能のほかに、下記の特長を有している。

- (1) 営業所用テレコン装置と同様の業務処理機能を備えている。
- (2) 22kV用のラインスイッチ (LS) のインタロック判定機能を持っている。
- (3) 転送しや断時に最適なしや断器を選ぶ、選択転送しや断機能を持っている。

本装置は、親局、転送しや断装置及び子局より構成され、それぞれの主な機能は次の通りである。

### ① 親局

ロジック盤、操作卓及び出力タイプライタにより構成され、ロジック盤に実装したCDT装置により各子局、転送しや断装置との情報授受を行い、更に卓インタフェース部を介し、制御・表示及び計測の各データを操作卓、出力タイプライタに転送している。

また、操作卓マンマシン機能の障害発生に備え、各CDT装置すべてに制御・表示機能を持たせ、ロジック盤のみで子局制御を可能としている。

操作卓及び出力タイプライタにより構成されるマンマシンインタフェース機能としては、計測データの作表印字、状態記録、操作記録のほか、集合表示灯による配電塔側の状態監視、LSインタロック判定、選択転送しや断判定等も行っている。

### ② 転送しや断装置

転送しや断信号受信部とCDT装置からなり、22kV系統及び機器に故障が発生した場合、CDT装置を介して入力されてくる親局側の選択条件に従って、最適なしや断器を選択動作させる。

### ③ 子局

CDT装置及び転送しや断信号送信装置を高さ1000mm×幅540mm×奥行350mmの筐体に収納しており、通常のテレコン装置用子局と同等の機能を有している。

(船戸 記)

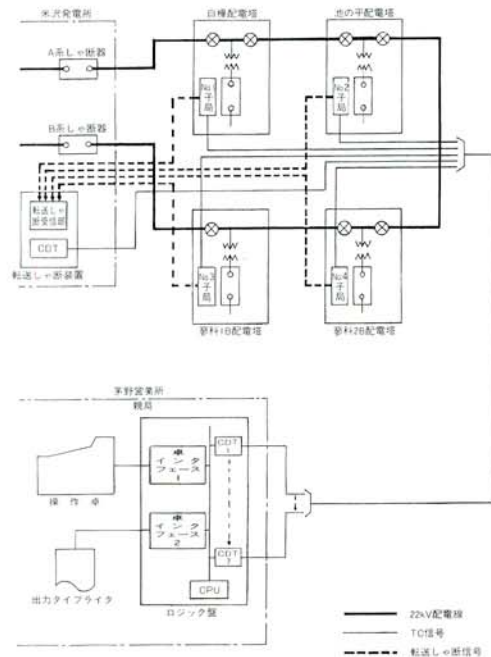
### ■主な仕様

項目	仕様
最大対向数	7(5)
伝送方式	サイクリックデジタル方式
伝送フォーマット	1ワード40ビット、1フレーム7ワード構成
伝送速度	200ボー
ポジション数	制御項目 20(10)、表示項目 40、計測 2
搬送周波数	制御1200Hz、表示2000Hz
転送しや断方式	3周波組合せによる周波数直結方式
転送しや断伝送遅れ	約100ms

( )内は実装数を示す。



### 外観



### システム概念図